

第45号文芸誌「三潮」が東奥日報で紹介されました。



県内教職員の力作、11部門 66作品、テーマ投稿 31作品が収録されています。青森県高等学校文化連盟文芸部令和3年度入賞作品も掲載しています。

1冊 1,000円(送料・税込み)で販売しております。

購入希望の方は、総務課(017-721-1310)へご連絡ください。

東奥日報 2021年12月28日(火) 朝刊掲載



「家族」テーマ投稿 三潮第45号を発行

県教育厚生会

県教育厚生会(渡部秀逸理事長)は、文芸誌「三潮」第45号(写真)を発行した。現職・退職を問わず職関係者から募った短歌や俳句、川柳、詩、小説などを掲載。327ページにわたり創作活動の成果を披露している。

「家族」とするテーマ投稿

の意義などに触れ「世界遺産は登録がゴールではない。未来永劫に保全の義務を負うとともに、いかに価値を伝えていくのか、課題もまた重い」と結ぶ。

稿には、31人が俳句や短歌、狂歌、川柳に作品を寄せた。コロナ禍での絆を詠んだ梅雨寒の家族をつなぐスマホかな(俳句・藤田則昭さん)や、率直に謝意を詠った(五十年我に寄り添い細やかに笑顔絶やさぬあなたに感謝)(短歌・関柳人さん)などが並ぶ。

また、県世界文化遺産登録専門監の岡田康博さんが「縄文遺跡群世界遺産登録への挑戦」と題して特別寄稿。17年間の道のりや登録品の掲載。

三潮は毎年12月に発行。頒価千円。問い合わせは県教育厚生会(電話017-721-1310)へ。(山崎光弘)